

EA115MB-20(ハンドスプレー)取扱説明書

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

◆ 仕様

- ・容量…1.9リットル
- ・タンクサイズ…φ130×220mm
- ・ポリエチレンタンク

◆ 各部名称



警告

- ・取扱説明書をよく読み、内容に従って使用して下さい。
- ・使用前に、スプレーをしっかりと点検して下さい。
- ・長期の保管後は、水でテストしてから使用して下さい。
- ・ゴーグル、フェイスマスク、長袖、長ズボン、手袋などを着用して下さい。
- ・薬品が、人や動物にかからないように注意して下さい。
- ・爆発の危険性がありますので、可燃性の液体をスプレーしないで下さい。
- ・パーツにダメージを与えますので、苛性・酸性・腐食性の液体は使用しないで下さい。
- ・破裂の恐れがありますので、道具を使用してタンクに加圧しないで下さい。
- ・キャップはしっかりと締めて下さい。
- ・40℃以上の溶剤を使用しないで下さい。
- ・強い衝撃を与えたり、安全バルブを改造したりしないで下さい。
- ・加圧した状態で、スプレーを放置しないで下さい。
- ・ポンプハンドルを持って持ち上げたり、運んだりしないで下さい。
- ・除草剤などの毒性の薬品を使用した後は、石けん水でタンクと安全弁を洗浄して下さい。
- ・ノズルが詰まってきたら取り外し、針金・つまようじなどで掃除して下さい。

◆ 使用前の準備

1. ノズルは、キャップの前側に取り付け、手で接続ナットを接続して下さい。
工具で締めてはいけません。
2. キャップを取り外し、吸上管(H)を取り付けて下さい。
3. これで準備ができました。化学薬品を使用する時は、その薬品の注意書きに従って下さい。

◆ 使用方法

1. キャップを取り外して下さい。
2. 薬品は、別の容器で混合して下さい。タンクに溶液を注ぐ時、細かいゴミを取り除くため、布かストレーナーで溶液を濾過して下さい。
3. 1.9リットルのマークまで溶液を注いで下さい。液体を注ぎすぎると、エアーを圧縮できません。
4. 再びキャップを取り付け、しっかりと締めて下さい。
5. 液体の量にもよりますが、10～20回ポンプして加圧して下さい。シューと音がしたら、安全バルブが自動的に作動しており、ポンプは十分に加圧されています。
6. 親指でトリガーを引いてスプレーして下さい。
7. ノズルの先端を締めると霧状に、緩めると液状で噴射します。
8. タンク内の圧力を維持するため、時々ポンプして下さい。
9. 作業が終了したら、シューと音が聞こえるまで少しずつキャップを回し、タンク内の圧力を下げて下さい。圧力が下がったらキャップを取り外し、洗浄して下さい。圧力は、タンクを逆さまにしたままトリガーを引いて下げる事もできます。

◆ メンテナンス

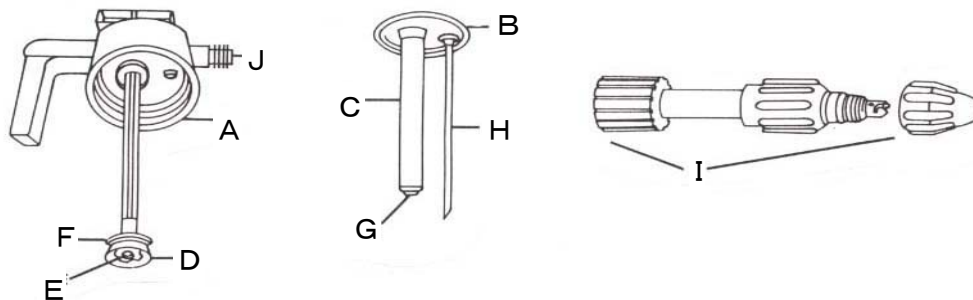
1. 圧力を完全に下げて下さい。
キャップを外し、タンクをきれいな水ですすぎ、その水は薬品メーカーの指示に従って処分して下さい。
ポンプ部分にオイルをさして、もう一度きれいな水でタンクを満たし、空になるまでスプレーして下さい。
殺虫剤・除草剤・その他毒性の薬品を使用した場合、石けんを含んだお湯で洗浄して下さい。
2. ノズル先端を取り外して、必要に応じてつまようじなどを使用して、先端の穴を掃除して下さい。
この時、先端の穴を破損しないように気を付けて下さい。
3. スプレーは、常に清潔で空の状態で保管して下さい。
4. 時々ポンプに10滴程オイルをさして下さい。(ポンプロッドの突き出た穴からさして下さい)

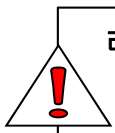
※ 圧力が下がる場合(下図参照)

1. キャップ(A)が、きつく締まっているか確認して下さい。
2. ポンプ部分にオイルをさして下さい。
3. キャップ裏の大きなオーリング(B)を点検し、ひび、破損が無い確認して下さい。
オーリングが密着する様に、薄くオイルをコーティングして下さい。
4. ポンプをチェックして下さい。
 - ・キャップを取り外し、ポンプチューブ(C)を引き下げてください。
 - ・ポンプカップ(D)に破損がないか点検し、割れていたり、摩耗しているなら交換して下さい。
 - ・ポンプリテイナーカップ(F)の底を見て、(F)に作り付けられているボールとバネ(E)を点検し、もし、乾燥した薬品や外部からのゴミが詰まっているようなら、ボールとバネを洗浄して下さい。
 - ・チェックバルブ(G)を点検して下さい。
汚れているなら布で拭き、ひびや摩耗があるのなら、交換する必要があります。
 - ・吸上管(H)にひびがないか、正しく取り付けられているかを点検して下さい。
もし破損しているのなら、交換して下さい。その後再び組み立て、水で試し吹きをして下さい。

※ 液体が漏れる場合(下図参照)

1. 水でタンクを満たし、加圧して下さい。
ノズル(I)をキャップから取り外し、トリガーを引かずに水が流れ出るのを確認して下さい。
2. 漏れがあるなら減圧し、水を抜いて下さい。
断続的にトリガーを引きながら、ノズルの取付穴(J)から何滴かオイルを注入して下さい。
3. まだ漏れがあるなら減圧して水を抜き、つまようじ等で内側のバルブのシートを掃除して下さい。
4. スプレー上部から漏れがある時は、チェックバルブを点検・掃除し、必要に応じて交換して下さい。





改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業行程に支障を来す場合があります。

株式会社 エスコ

本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL: (06)6532-6226 FAX: (06)6541-0929